

(別紙)

● **BD FACSAria™ II、III、Fusion (Special Order System 含む)の洗浄手順の変更について**

スタートアップ

- ①BD FACSDiva™ ソフトウェアを起動した後、CytometerメニューのCleaning ModesよりPrime after Tank Refillを行います。
- ②シース液、DI、Clean、エタノールのフィルターの気泡の除去を行います。
- ③CytometerメニューからFluidics Startupを行います。
完了した後、クローズループノズルを外しClean Flow cellを行います。
- ④フローセルのノズル口に小児用綿棒を挿入します。
- ⑤50%コントラッド溶液が3ml入ったチューブをLoading PortIにセットします。
- ⑥CytometerメニューのCleaning ModesよりClean Flow Cellを選択し、OKをクリックします。
- ⑦作業終了のメッセージが表示されます。この状態で、1 分間静置します。
* 15 分間以上静置しないようにしてください。長時間静置することにより、機器測定に不具合が生じる場合があります。
- ⑧1分後、フローセルから綿棒を取り外し、BreakoffウインドウからStreamをONにします。
フローセル内のコントラッド溶液およびノズル口径より大きい汚れを洗い出します。
- ⑨引き続き、CytometerメニューのCleaning ModesよりSample Line Backflushを選択します。
- ⑩Startをクリックし、30秒間サンプルラインを洗浄します。
- ⑪StopおよびCancelをクリックし、洗浄を止めます。
- ⑫Breakoff ウインドウの Stream をクリックし、ストリームを止めます。
- ⑬フローセルの洗浄が完了した後、ノズル挿入口およびノズルレバー、カメラウインドウをクリーニングし、測定する細胞に適したノズルを装着します。
以降、通常のスタートアップを続けます。

シャットダウン

- ①FACSCleanが3ml入ったチューブをLoading Portにセットし、Loadボタンで5分間流します。
その際、FlowRateは最大の11に設定します。
- ②同様に滅菌水が3ml入ったチューブをLoading Portにセットし、Loadボタンで5分間流します。
- ③ストリームをOFFにします
- ④フローセルからノズルを取り外し、ノズル、ノズル挿入口、カメラウインドウをクリーニングします。
- ⑤ソートブロックのアスピレーターにFACSRinseおよび滅菌水を約10mlずつ吸引させます。
- ⑥引き続き、DailyシャットダウンあるいはWeeklyシャットダウンをおこないます。
* DailyおよびWeeklyシャットダウンの方法についてはFACSAria™ Training Manualをご参照ください。

以上